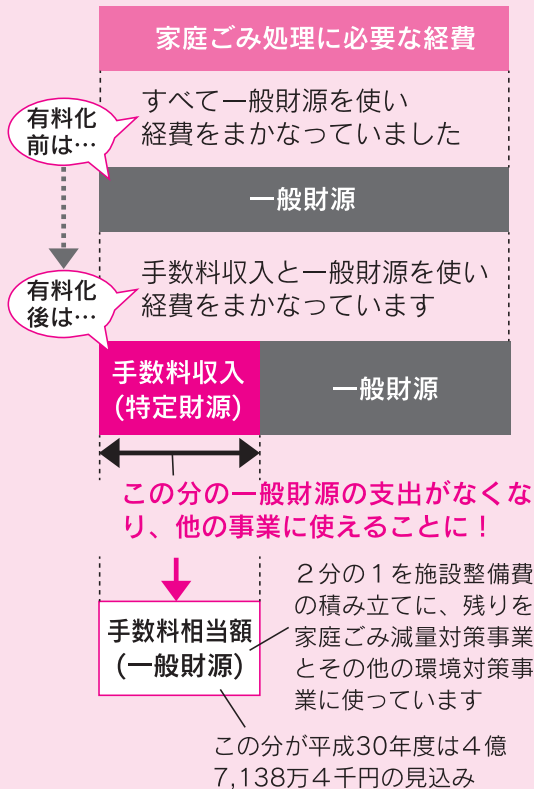


いつまでも美しく...



■手数料相当額のイメージ



■ワンポイント解説

(15ページに掲載した用語を解説)

- ・ 特定財源＝あらかじめ使い道が決まっている収入
- ・ 一般廃棄物処理施設整備基金積立金＝総合環境センターの溶融炉改修などに備えた基金への積み立て。将来の施設整備に係る費用の負担を軽減するため、市では手数料相当額のおおむね2分の1の額を積み立てます
- ・ バイオマス＝再生可能な生物由来の有機性資源で、エネルギーとして利用できるもの(原油、天然ガス、石炭などの化石資源を除く)
- ・ あきエコどんどんプロジェクト＝携帯アプリで登録し、楽しみながら地球温暖化対策に参加できる仕組み。環境にやさしい取り組みを行うたびにポイントがたまり、そのポイントに応じて景品がもらえます



人にも地球にも
やさしいあきた



長年の功績を称えて “一般廃棄物収集運搬業優良者表彰”



写真①(2月22日開催)



写真②(3月14日開催)

「平成29年度秋田市一般廃棄物収集運搬業優良者表彰」を行い、下記事業所・団体の13人を表彰しました。いずれも長年にわたり、市の廃棄物行政に貢献された功績が認められたものです。おめでとうございます。

環境都市推進課 ☎(888)5709

上の写真①▶秋田市廃棄物処理協会に所属する事業所のうち秋田協同清掃(株)の2人、オークス(株)の1人

上の写真②▶公益財団法人秋田市総合振興公社の5人、協同組合秋田古紙回収協会の5人



今夏も“緑のカーテン” アサガオ、ゴーヤの種を配布

この夏も、直射日光の当たる窓を植物で覆う「緑のカーテン」で暑さを和らげませんか。4月24日(火)から、下記の施設でアサガオとゴーヤの種を配布しますので、ご自由にお持ち帰りください。種がなくなり次第終了します。

なお、今年度の緑のカーテン写真コンテストは9月に開催予定です。

環境総務課 ☎(888)5704

種を置いている施設 ▶環境総務課(市役所3階) ▶各市民サービスセンター(中央を除く) ▶駅東サービスセンター ▶市立図書館(フォンテ文庫を除く) ▶八橋・飯島・大森山の老人いこいの家 ▶自然科学学習館(アルヴェ4・5階)

平成30年度の家庭ごみ 処理手数料相当額の 使い道が決まりました

問い合わせ▶環境都市推進課☎(888)5706

ホームページ▶

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ev/cp/gennryouhp/mieruka.htm>

市では、ごみ減量のため、市民のみなさんに家庭ごみ処理手数料を負担していただき、全額を家庭ごみの処理に必要な経費に充てています。そして、これと同額の手数料相当額について、条例で使い道の範囲を定め、さまざまな環境対策に活用しています。

平成30年度は手数料収入を4億7,138万4千円と見込んでおり、活用する事業の内訳は下表のとおりです。詳しくは、環境都市推進課ホームページでもご覧いただけます。

■家庭ごみ処理手数料収入(歳入)

…4億7,138万4千円

↓ 特定財源として直接充当

■家庭ごみの処理に必要な経費(歳出)

(ごみ収集運営費)…4億7,138万4千円

↓ 相当額の一般財源を環境施策などに活用

■手数料相当額を活用する事業など(歳出)

…4億7,138万4千円

(下表の①+②+③の合計)

◆歳出の内訳(①②③)

①一般廃棄物処理施設整備基金積立	2億3,569万2千円
②家庭ごみ減量などの対策事業	1億1,514万1千円
ごみ集積所の設置・修繕、被せネットの購入に対する町内会などへの補助	998万8千円
コンポスター購入費補助や生ごみ堆肥づくり講座などの開催	582万7千円
資源化物の回収を行う町内会などへ奨励金を交付	1,456万7千円
資源化物の祝日収集	1,107万1千円
古紙回収の促進・支援	2,539万円
ごみ減量説明会・キャンペーン、ごみ減量イベントなどの開催	1,654万5千円
ごみ集積所のパトロールや不適正排出の現場調査	252万5千円
不法投棄防止のパトロールなどの対策	1,390万7千円
家庭ごみ処理手数料収納管理、小売登録事業者への手数料の徴収事務委託やシステムに係る経費	1,532万1千円
③その他の環境対策事業	1億2,055万1千円
地球温暖化対策	
住宅用太陽光発電システムや木質ペレットストーブなどの導入費補助	2,074万8千円
再生可能エネルギー(太陽光・風力・地熱・バイオマス)施設のPRと情報発信	275万3千円
電気・ガスなどのエネルギー使用状況の把握と分析による市有施設の効率的な運用	2,165万6千円
市有4施設での省エネルギー設備の導入による省エネ化と効率的な光熱費削減	816万5千円
楽しみながら環境配慮行動を促す「あきエコどんどんプロジェクト」の実施	618万9千円
将来の環境制約下でも持続可能な社会の実現を図るため、低炭素で温暖化防止に役立つ暮らし方を考える取り組みの推進	13万1千円
エコドライブ実技講習会などによる地球温暖化対策の推進	214万7千円
町内会の防犯灯や観光施設、道路照明灯、室内灯などのLED化を実施	1,310万6千円
間伐や森林施業への支援、公園の緑地整備による二酸化炭素吸収効果の向上	1,460万3千円
生活環境の保全に寄与する事業	
微粒子状物質(PM2.5)の成分分析	870万2千円
水銀含有ごみの収集運搬・処分に必要な経費	2,235万1千円
地域振興基金を充当する事業(歳入と歳出の差額を後年度の事業に活用するために積み立てていたもの)	7,048万5千円
環境負荷の少ない電気自動車などの次世代低公害車を公用車として購入	247万2千円
室内照明灯、通路照明灯のLED化を実施	1,785万8千円
中小企業などの省エネを促進する設備投資を支援	5,015万5千円

